

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-1

TEL 03-3818-2661 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 北村 憲正(きたむら よしまさ)

<http://www.computernews.com/marketview>

絶好調の「MI-E1」 シャープを第1四半期のトップベンダーに導く

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長奥田喜久男)は、東名阪のパソコン大手販売会社13社(エイデン、大塚商会=ランド、グッドウィル、コンプ100満ポルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、上新電機、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ビックパソコン館、ニノミヤ、ワンダーコーポレーション=50音順)562店舗(2001年4月1日現在)の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています。

コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長・奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研は、BCNランキングより集計した2001年第1四半期(1月~3月)のPDA売れ筋トップ10とベンダーシェアを発表した。昨年末に発売された新型ザウルス「MI-E1」が圧倒的な人気を集め、シャープが23.5%でトップシェアを獲得した。

2000年のPDA市場は、ハンドスプリング、パームコンピュータリング、ソニーなどのパームOS勢の参入により、ベンダーシェアが大きく変動、激動の1年となっていた。その状況が昨年12月15日の「MI-E1」発売でがらりと変わった。「MI-E1」は、2001年1月に17.3%のシェアを獲得し、並み居る競合を抑えてトップとなった。1月以降も2月、3月と順調に売れつづけ、3月には24.6%と3ヵ月連続トップを獲得、新型ザウルスの人気は衰えをみせていない。

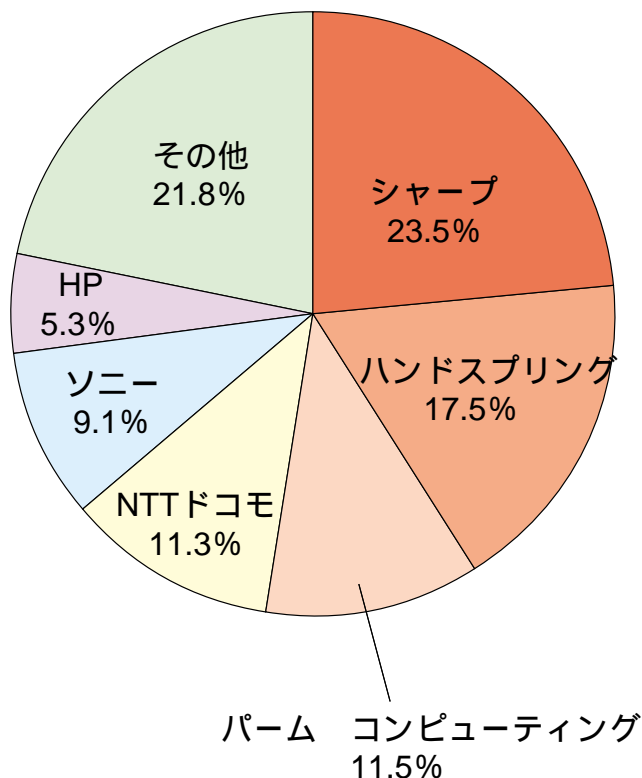
「MI-E1」は、今までのザウルスシリーズで培ったノウハウに加え、ビデオ、音楽などの最新機能を盛り込み、PDAの活用シーンの拡大を実現している。また、スライド式のキーボードも好評を得た。この「MI-E1」が大きな原動力となり、シャープは第1四半期のトップベンダーとなった。

そのシャープを追撃するのがパームOS勢だ。ハンドスプリングが2位(17.5%)、パームコンピューティングが4位(11.3%)と好調。4月に発売されたソニーのNEW「CLIE」も順調な滑り出しをみせており、第2四半期でのパームOS勢の追い上げに拍車がかかりそうだ。

機種別では、NTTドコモのシグマリオンが2位、ヒューレットパッカートのJornadaが7位に入っており、WindowsCE勢も健闘している。

新機種の登場で、スケジュール管理、メモ、アドレス管理に留まらず、音楽、ビデオとますます生活シーンに身近になったPDAは、2001年暦年でも更に大きな伸びを見せると思われる。

2001年第1四半期（1～3月）のPDAベンダーシェア



2001年第1四半期（1～3月）の売れ筋トップ10

順位	ベンダー	品名	台数シェア (%)
1	シャープ	Zaurus M I-E1	15.0
2	NTTドコモ	シグマリオン	8.7
3	HANDSPRING	Visor Prism	6.6
4	日本IBM	WorkPad	5.6
5	ソニー	CLIE	4.6
6	HANDSPRING	Visor Platinum	4.5
7	HP	HP Jornada 720	3.6
8	パーム コンピューティング	Palm Computing m 100 日本語版	3.3
9	パーム コンピューティング	Palm Vx ハンドヘルド	3.2

* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。井門までご連絡下さい (imon@bcn.co.jp)。